

ネパール経済ニュース（16年7月）ヘッドライン

経 済	
ネパール・中国 関係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4日、本年、ムスタン郡のコララ国境ポイントから中国への輸出は全く行われていないが、輸入は前年比2倍となっている。中国は、コララ国境を25日間限定で開くしていたが、16日目で閉鎖した。 (2) 10日、商業・供給省のシェルダル・サブコタ次官が中国を訪問し、中国からの燃料輸入の可能性について話し合った。 (3) 22日、中国企業が建設しているアッパー・マルシャンディ A 水力発電所（75MW）が9月に送電を開始する予定。また、中国企業が建設しているアッパー・マディ水力発電所（25MW）も本年中に発電が開始される見込み。
ネパール・インド 関係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4日、アルン 3 水力発電プロジェクト（900MW）の土地収用に関する通知が土地所有者に対して出された。 (2) 5日、現在、ジョグバニで建設中の Integrated Check Post（税関の手続きを集約して行う施設）が、6年経った今でも完成の目処が立っていない。インド側にも同様の施設を建設しているが、80%建設されている。 (3) 11日、ポカラ・ニューデリー間の直行バスの運行が始まった。在ネパール・インド大使館は、2014年のモディ首相がネパールを訪問した際の合意を受けたものであると述べた。
財政 税制	<ul style="list-style-type: none"> (1) 9日、2016/2017年度政府予算案が議会で可決された。会計年度前に可決されるのは15年振りのこと。 (2) 14日、ネパール中央銀行は2016/2017年度の金融政策を発表し、経済成長率を6.5%、インフレ率を7.5%に抑える目標を設定した。 (3) 16日、バイラワ税関での2015/2016年度の税収入が610.91億ルピーとなり、ビルガンジを抜いて国内最多となったことが分かった。ビルガンジ税関の2015/2016年度の税収入は550.64億ルピーであった。 (3) 19日、財務省は、2015/2016年度の税収が約4,820億であったことを公表した。国境封鎖があったにもかかわらず、目標よりも約70億ルピー税収が増えた。
金融 物価 為替	<ul style="list-style-type: none"> (1) 15日、ネパール中央銀行は、2015/2016年度当初11カ月のインフレ率が11.1%であると発表した。昨年度当初11カ月のインフレ率は7.4%であった。 (2) 18日、アジア開発銀行によると、2015/2016年度のネパールのインフレ率は南アジアで最も高かった。バングラデシュが6.2%、インドが5.4%。アジア開発銀行は、2016/2017年度のインフレ率を8.2%と予測している。

貿易 投資	(1) 30日、2015-2016年の海外直接投資に関して、コミットメントされた151.3億ルピーに対して、実際に投資されたのは47.9億ルピーであったことがネパール中央銀行と産業省によって発表された。
地域経済	<p>(1) 4日、文化・観光・民間航空省は、2015年の入国者数が前年比251,148人減の538,970人であったと発表した。地震と国境封鎖が原因見られる。</p> <p>(2) 10日、ネパール石油公社は、利子を含む国からの借入金14.1億ルピーをすべて返済した。</p> <p>(3) 18日、ライ情報通信大臣は、本年10月以降に4Gのサービスを主要都市にて開始すると発言。</p> <p>(4) 19日、インフラ交通省は、カトマンズ・タライ間のファスト・トラック建設計画に関するコンサルタントの関心表明を公募した。</p> <p>(5) 19日、産業省は、7つの州すべてにおいて工業地域を設置すると述べた。</p> <p>(6) 21日、労働・雇用省は、海外で働くネパール人の数を400万人であると公表した。主な出稼ぎ先はマレーシア及び中東。</p> <p>(7) 22日、今会計年度中に、カブレパランチョーク郡においてパンチャカル経済特区の建設が開始される予定。</p> <p>(8) 28日、文化・観光・民間航空省は、2020年のネパールへの入国者数の目標を133万人、2025年は252万人とすることを発表。</p> <p>(9) 29日、世界銀行は、住宅再建補助金の支給を以前の合意通りに3回に分けて行うことを強調。</p> <p>(10) 30日、2015-2016年の海外出稼ぎ労働者数が418,713人となり、前年の512,887人から減少した。主に、マレーシアへの出稼ぎ労働者が減少したことが原因。</p>